

第4学年 国語科学習指導案

学年・組	第4学年1組	期 日	平成24年6月29日	授業者	T1:佐藤 恵理子 T2:永井 麻里子
単元名	「ことわざブック」を作ろう				
この単元を通して児童につけさせたい言語能力					
<ul style="list-style-type: none"> ・ことわざや故事成語について知り、意味を理解する力。 ・ことわざを適切に使う力。 					
この単元で重点化する指導事項					
領 域	A 話すこと・聞くこと	指 導 事 項	ア話題設定や取材 イ話すこと ウ話すこと エ聞くこと オ話し合うこと		
	B 書くこと		ア課題設定や取材 イ構成 ウ記述 エ記述 オ推敲 カ交流		
	C 読むこと		ア音読 イ説明的な文章の解釈 ウ文学的な文章の解釈 エ自分の考えの形成及び交流 オ自分の考えの形成及び交流 カ目的に応じた読書		
	伝統的な言語文化と国語 の特質に関する事項		ア 伝統的な言語文化に関する事項 イ言葉の特徴や決まりに関する事項 ウ文字に関する事項		
上記の指導事項を踏まえて設定する言語活動					
設定した言語活動 (言語活動例)	・ことわざ事典などを読んで意味を調べたり、ことわざを使った短い文章を書いたりして「ことわざブック」を作る活動				
設定理由	ことわざへの関心を高め、先人の知恵や考え方にふれさせるとともに、子どもたちの言語生活の中に適切に生かせるようにさせるため。				
設定した言語活動の 系統	(1) 下学年での学習経験 なし ・ あり 【第3「慣用句を使ってみよう」】 (2) 上学年へのつながり (第6学年までのつながり) なし ・ あり 【第5学年「古文を声に出して読んでみよう」】 【第6学年「漢文を読んでみよう」】				
以上のことを踏まえ、家庭学習も考慮した指導計画					
時	到達目標 (活動目標) 【評価】	学習活動	家庭学習	指導事項	
事前			「ことわざ」の意味調べをする。 家の人にことわざを聞いてくる。		
1	ことわざについて理解し、学習の見通しを持つことができる。【 関 ・ 言 】	ことわざについて知る。 「ことわざブック」を作るために必要なことを考える。	ことわざの意味を調べてくる。	伝ア(イ)	
2	ことわざの意味を辞書等で調べ、ことわざを使った文章例からの書き方を知ることができる。【 言 】	教科書のことわざの意味を調べる。 ことわざを使った文章例から、文章の書き方を知る。	文章にあったことわざを選んでくる。	C(1) カ	
3 本 時	ことわざの意味にあった場面を想定し短い文章を書くことができる。【 書 ・ 言 】	ことわざの意味にあった、場面を想定して短い文章を書く。	ことわざの意味にあう短い文章を書いてくる。	B(1) アウ 伝ア(イ)	
4	ことわざブックを読み合い、ことわざの意味や用法を理解することができる。【 言 】	ことわざをまとめ、ことわざブックをつくる。 ことわざブックを交換し、ことわざに対する知識を広げる。	「故事成語」の意味調べをする。 家の人に故事成語を聞いてくる。	伝ア(イ)	
5	故事成語の意味や成り立ちについて辞書等で調べることができる。【 言 】	故事成語のもとになった話と意味を調べる。	故事成語の意味を調べてくる。	伝ア(イ)	
6	学習を振り返り、ことわざや故事成語のよさについて話し合うことができる。【 関 ・ 言 】	ことわざや故事成語を使うと、どんなよさがあるか考える。	家でことわざや故事成語を使ってみる。	伝ア(イ)	

本 時		
目標 ことわざの意味にあった場面を想定して短い文章を書くことができる。		
展 開		
段階	学 習 活 動	○留意事項 と ☆支援
導 入 (7分)	1 やってきた宿題について、隣り同士情報交換する。 2 本時の学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ことわざの意味にあった場面を考えて短い文章を書こう。 </div>	○宿題でやってきたことをお互い読み合い、確認する。 ○宿題が今日の学習につながっていることを確認する。
展 開 (47分)	3 今まで調べたことわざの意味確認をする。 1 猿も木から落ちる 2 猫に小判 3 石の上にも三年 4 えびで鯛を釣る 5 ちりも積もれば山となる 6 笑う門には福来たる 7 ぬかにくぎ 8 良薬は口に苦し 9 飛んで火にいる夏の虫 10 負けるが勝ち 11 転ばぬ先の杖 4 文章構成を確認する。 5 全体で「鬼に金棒」の意味を確認し、場面を話し合い、文を書く。 6 ことわざを使った短い文章を考え、発表する。 (1) ことわざにあう短い文章を書く。 (2) 隣同士で読み合いをする。 (3) ことわざごとに文章を発表する。	○ことわざの意味を確認し、正しい意味を理解し文章に生かせるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>評価規準</p> <p>【書く能力】</p> <p>ことわざの意味に応じた場面を想定し、短い文章を書くことができる。</p> <p>☆なかなか書けない児童には、宿題や辞書など例文を参考にさせる。</p> <p>☆T2 は文章を書くのが苦手な子どもを中心に机間指導にあたる。</p> </div> ○ことわざの意味にあった場面と、ことわざは必ず書くこと、さらにことわざの意味も書ける子は書くことを確認する。 ○書いた文章を読み合い、ことわざの意味に合っているか確認する。 ○文章で共通しているところを確認し進める。
終 末 (6分)	6 本時を振り返る ・振り返りカード・授業の感想を書く。 7 次時の内容と宿題について確認する。	○宿題が今日の学習で役に立ったことを振り返り確認する。 ○今日の宿題が明日の授業の勉強にもつながることを話す。

ふり返り カード

名前

☆ 次のしつ間に答えましょう。(◎)◎そう思う ○まあまあ △そう思わない()また、感想を書きましよう。

カ	オ	エ	ウ	イ	ア	日にち
						① 昨日の国語の宿題のおかげで授業がよくわかり、宿題をちゃんとやってよかったと思う。
						② 今日の国語の勉強は、よく分かった。(できた)
						③ 今日の宿題をがんばってみようと思う。
						今日の感想

「ことわざブック」を作ろう①

名前

（

・「諺」って何？ 意味を調べて□の中に書きましょう。

・「ことわざを書きましよう。(知っている・聞いたことがある・家の人に聞いた)

【意味】

【例】

【意味】

【例】

「ことわざブック」を作ろう②

名前（

）

・次の諺の意味を調べよう。例もあれば書きましよう。

さるも木から落ちる

【意味】

【例】

ねこに小判

【意味】

【例】

石の上にも三年

【意味】

【例】

えびでたいをつる

【意味】

【例】

ちりも積もれば山となる

【意味】

【例】

笑う門には福きたる

【意味】

【例】

ぬかにくぎ

【意味】

【例】

良薬は口に苦し

【意味】

【例】

飛んで火にいる夏の虫

【意味】

【例】

負けるが勝ち

【意味】

【例】

転ばぬ先のつえ

【意味】

【例】

【意味】

【例】

「ことわざブック」を作ろう③

名前（

）

次の文章に合うことわざを□から選び、文を完成させましょう。

1 ぼくは、ほしいいおもちゃがあったので、少ないおこずかいをためていました。気が付いたら一万円たまっていました。

ぼくは、少こしずつでもたくさんたまるとおおきなお金になるので、

「
」だ

なと思いました。

2 わたしは、新しく習い事をはじめました。すぐうまくならないのでやめたくな

ったけど、がんばって続けたらうまくなりました。

私は、「
」

だなと思いました。

3 おじいちゃんからめずらしい記念切手をもらいました。ぼくは、どんなところがめずらしいのか全く分かりませんでした。

ぼくには、切手のよさが分からなかったので「
」

だなと思いました。

ねこに小判

石の上にも三年

ちりも積もれば山となる

「ことわざブック」を作ろう④

名前（

）

・ 故事成語って何？ 意味を調べて□の中に書きましょう。

・ 故事成語を書きましょう。（知っている・聞いたことがある・家の人に聞いた）

【意味】

【例】

【意味】

【例】

【意味】

【例】

.....

.....

.....

.....

.....

.....

【意味】

【例】

.....

.....

.....

.....

.....

.....